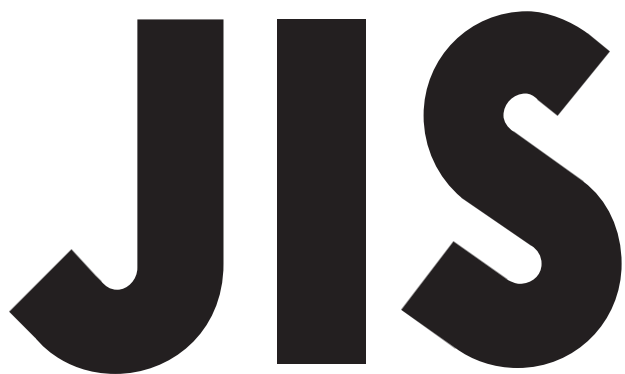




工業プロセス用調節弁－ 第 7 部：調節弁データシート

JIS B 2005-7 : 2019
(IEC 60534-7 : 2010)
(JVMA)

平成 31 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	猪 狩 俊 一	三菱マテリアル株式会社
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 和 巳	KYB 株式会社
	大 西 賢 治	OKK 株式会社
	川 井 謙 一	横浜国立大学名誉教授
	渋谷 眞 人	東京工芸大学名誉教授
	菅 谷 功	株式会社ニコン
	田 邊 義 和	株式会社トヨシマ
	平 井 亜紀子	国立研究開発法人産業技術総合研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20 改正：平成 31.3.20

官 報 公 示：平成 31.3.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本バルブ工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-1811)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	3
4 適用	3
4.1 一般	3
4.2 初期の調節弁仕様書	3
4.3 調節弁引合い仕様書	3
4.4 調節弁注文仕様書	3
5 一般要求事項シート	3
5.1 一般要求事項シートの目的	3
5.2 調節弁データシート項目の記入場所	3
5.3 一般要求事項に含めるための考慮すべき項目	4
6 調節弁データシートの作成 (図 1 参照)	4
6.1 表題欄	4
6.2 縦列番号の説明	4
6.3 調節弁データシートの項目の説明	4
参考文献	12
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本バルブ工業会（JVMA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 2005-7:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 2005 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS B 2005-1 第 1 部：調節弁用語及び一般的必要条件

JIS B 2005-2-1 第 2 部：流れの容量－第 1 節：取付け状態における流れのサイジング式

JIS B 2005-2-3 第 2 部：流れの容量－第 3 節：試験手順

JIS B 2005-2-4 第 2 部：流れの容量－第 4 節：固有流量特性及びレンジアビリティ

JIS B 2005-3-1 第 3 部：寸法－第 1 節：フランジ形二方ストレート形グローブ調節弁の面間寸法及び
アングル形グローブ調節弁の中心-面間寸法

JIS B 2005-3-2 第 3 部：寸法－第 2 節：バタフライ弁を除く回転形調節弁の面間寸法

JIS B 2005-3-3 第 3 部：寸法－第 3 節：突合せ溶接形二方ストレート形グローブ調節弁の面間寸法

JIS B 2005-4 第 4 部：検査及び試験

JIS B 2005-5 第 5 部：表示

JIS B 2005-6-1 第 6 部：調節弁へのポジションナの取付けの詳細－第 1 節：直線運動駆動部へのポジション
ナの取付け

JIS B 2005-6-2 第 6 部：調節弁へのポジションナの取付けの詳細－第 2 節：回転運動駆動部へのポジション
ナの取付け

JIS B 2005-7 第 7 部：調節弁データシート

JIS B 2005-8-1 第 8 部：騒音－第 1 節：調節弁の空気力学的流動騒音の実験室における測定

JIS B 2005-8-2 第 8 部：騒音－第 2 節：調節弁の液体流動騒音の実験室における測定

JIS B 2005-8-3 第 8 部：騒音－第 3 節：調節弁の空気力学的流動騒音の予測方法

JIS B 2005-8-4 第 8 部：騒音－第 4 節：調節弁の液体流動騒音の予測方法

工業プロセス用調節弁— 第 7 部：調節弁データシート

Industrial-process control valves—Part 7: Control valve data sheet

序文

この規格は、2010 年に第 2 版として発行された **IEC 60534-7** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

調節弁仕様書の作成は、プロセス制御系の設計、購入及び製作の非常に重要な部分を占める。不完全又は誤った仕様によって調節弁が選定された場合、この調節弁の交換には使用者及び調節弁製造業者の双方に費用損失が生じ、多くは大幅な計画遅延の結果を招く。そのために、主な調節弁使用者及び請負業者の多くは、調節弁仕様に関して可能な限り過誤を避けるように、各企業独自のデータシートにて運用している。

調節弁製造業者、使用者及び請負業者の間での混乱を避けるために、データシートの標準化が必要である。

標準の調節弁データシートの目的は、内容及び形式双方の統一を図ることである。請負業者、使用者及び製造業者がこの形式を一般に使用することによって多くの利点が得られる。

例えば：

- ・あらゆる主要な事項を記載するための項目欄及びその表記の空白欄の使用によって完全な仕様作成の助けになる。
- ・用語の統一を図る。
- ・統一された情報の表示によって引合い、購買、受入れ、支払い及び発注手続を容易にする。
- ・確認するための恒久的な記録及び情報が得られる。
- ・初期計画から最終設置に至るまでの効率化。

1 適用範囲

この規格は、工業プロセス系用の大部分の調節弁を調達するために一般的に必要な要求事項の一覧表について規定する。ただし、想定できるプロセスのための要求事項を全て含んでいるわけではない。

データシートの様式は、標準化したデータを提示することによって仕様書作成者を支援し、また、データ処理装置使用の際の基準となるように書式化している。

省略用語が正しく理解され、かつ、首尾一貫したデータが間違いなく記入されるよう詳細に説明する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

IEC 60534-7:2010, Industrial-process control valves—Part 7: Control valve data sheet (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“一致している”ことを示す。